

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2013年4月30日】

団体名 NPO法人 MEIMI・CLUB

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願いします)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

「命輝け 京都第九コンサート」に学ぶ

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

現在の障がい者を取り巻く環境は、本人の意思よりも周りの都合に左右されることが多く、障がい者の持つ能力や意思が十分に理解されにくい状態にあるように感じます。しかし、このコンサートでは本人が歌いたい・参加したいと思う気持ちが優先され、重度の障がいを持っていても生き生きと参加する人達が存在します。

「声が出ない人は心で歌えばよい。」と、障がい者に対してそんな温かい気持ちを持つ場があること、その想いによって輝く人達がいることを、映像を通して地域の人々にお伝えすることを目的としています。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

当法人が主催となり、東久留米市生涯学習センターにてDVDの上映と「京都第九コンサート」創設者 馬庭京子氏の講演会を行いました。最初に馬庭氏から、このコンサートに行き着くまでのお話が30分間あり、その後約40分のDVD上映。このDVDでは、京都第九の歴史や練習風景、本番の様子などが上映されました。

その後さらに15分ほど馬庭氏の講演があり、最後はサプライズ企画として、東久留米市合唱連盟有志の方々約40名とMEIMI・CLUBによる第九の合唱が行われました。2回目の合唱の際には会場の希望者もステージにお誘いし、客席も含め会場内の皆さんで第九の合唱を行いました。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

今回、京都の様子をより強く地域に伝えるために、京都第九創設者 馬庭氏をお招きしました。DVDの作成でも京都第九のカメラマン新司氏に多大なるご協力をいただきました。

また、今回の趣旨に御賛同いただいた東久留米市合唱連盟有志の皆さんが、この日のために事前に数回の練習を設け、当日私達MEIMI・CLUBと一緒に第九を合唱してくれたことで、会場内はとても温かい空気に包まれました。

その差別のない空気は確かに会場に伝わり、多くの人々が共感し、感動していただけたような気がします。

今回は東久留米市、東久留米市社会福祉協議会からの後援もいただくことができました。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

今回イベントを行うに際して、より多くの地域の人々にこの状況を知ってもらいたい、この空気に触れてもらいたいと企画したものの、入場数は予定の約半数150名程度でした。しかしながら参加者からは高い評価をいただき、今回の上映会やこのコンサートの意味を理解していただけたと確信しています。

また、参加者の一人である生涯学習センターの館長さんからは、「来年の暮れに市民で歌う第九を計画中。今日の講演をみて、障がい者が一緒に歌えることを知りました。その際には是非一緒に歌ってください。」とのお言葉をいただきました。

当日の会場の空気や館長さんのお言葉、これらがまさに私達の目的であり、これからまた少しずつ時間をかけて、この地域に温かい空気を広げよう、そんな風に感じた一日でした。

ハッピーな
人たちと
せむい

第12回

NPO 法人 MEIMI・CLUB 学習会

“命輝け京都第九コンサート” に学ぶ

◇ 2012年2月4日(土) 午後2時開演 (1時30分開場)

◇ まろにえホール (旧中央公民館)

第1部

講演会

講師 馬庭京子 (命輝け 京都第九コンサートの会 創始者)

～声の出ない人は心で歌っています～

—休憩—

第2部

上映会 「命輝け京都第九コンサート20年のあゆみ」

【チケット 500円 全席自由】

同日 さをり作品展開催

集会学習室1、2にて

主催 // NPO 法人 MEIMI・CLUB

代表 新田まいの

事務局 Tel/Fax 042-471-0189

e mail meimi-club@ray.ocn.ne.jp

共催 さいわいさをり会

協力 東久留米市合唱連盟

後援 東久留米市

東久留米市社会福祉協議会

助成 真如苑「shinjo プロジェクト」市民活動公募助成

東久留米駅西口より徒歩14分



